

<会長の部屋>

先日、山口県内の市町社協トップミーティングに参加しました。県内各地から、会長や局長クラスの方々が参集され、とても有意義な時間を過ごすことができました。出てくる課題は共通するも、皆さんの話の中から、社協の本質や役割は何なのだろうか？と考える機会となりました。

その中で、長門市や下関市で既に進んでいる地域協議会は本質的なものだろうと思っています。この件は宇部市内の社会福祉法人の方々からも、まとめ役（事務局機能）としての社協に強い期待が出されていますので、本会としても取組んでゆく方向性です。現在、社会福祉法人は地域での公益活動（利益の還元）を求められています。この活動をより有意義なものにするには、当該法人の方々が共に協議し、地域課題を解決してゆくのが良策です。地域協議会とはそのような役割を果たすものです。

福祉が進んできている宇部市ですが、課題はまだまだありますし、終わりのないものだろうと理解しています。本会がそのまとめ役としての機能を担い、より良い宇部、そして、誰もが自分らしく暮らせる宇部となるように頑張ればと思います。

会長就任から2か月が過ぎ感じていることは、職員たちの頑張りです。それにしっかりと応えられるように、私なりの舵取りをしてゆきたいと思っています。

多くの市民の方々が気楽に集い、共に創る地域福祉の拠点としてあり続けたい、その為にも施設整備や環境改善も並行して進めてゆく予定です。

2017年8月25日 有田信二郎